

八幡堀と町衆の430年の道のり

八幡堀と町衆の430年の道のり

通信 八幡堀界隈 瓦 かわら版

2017 Vol.30

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

八幡堀と町衆の430年の道のり

八幡堀界隈 瓦 かわら版

2017 Vol.30

知って得して、見て得して、町の歴史



八幡堀界隈のお店へ行こう!
www.hachimanbori.com



【最上屋 西谷善太郎】(小幡町)
もがみや にしたにせんたろう

西谷善太郎家の初代は布施源左衛門で近江国神崎郡小幡庄(五個荘町小幡)を経て、安土に移住し、天正7年(1579)亡くなりました。
二代目より西谷と名乗り、八幡築城と共に天正15年(1587)八幡に移住し、源左衛門出身地である小幡庄より地名を八幡小幡町と命名されています。三代目善右衛門は71歳で他界しています。四代目西谷善兵衛は幼名を善太郎と称し、25歳のとき親より仕入れ銀(資本金)を与えられ出羽最上地方に最も早く進出しました。出羽地方(山形県)に商行をし、進出していき、上方の練綿(くりわた)、呉服、古着類を持ち歩き、八幡では屋号を大十印『最上屋』奥州の出店は『西屋』と称しました。

四代目の妹は西川甚五郎家に嫁いでいます。五代目西谷善太郎は出羽地方で大いに活躍し、西谷善九郎家は、西谷善太郎家から寛文6年(1666)に分家して、福島と山形に『ヤマダ』の家印をもつ『西屋』という屋号の出店をそれぞれ設けました。山形の繁華街である十日町にあった出店の店名は、西屋清兵衛と称するものです。西屋清兵衛の商売は、山形では上方の呉服を商いました。また、現地で仕入れた紅花・苧麻(ちよま麻布の原料)・生糸などの商品を船で最上川を経て坂田からさらに越中伏木(ふしき)・越前敦賀から八幡や京都へ諸国産物廻しの商法を採ったのです。紅花の取扱いはヤマダの印の入った紅花荷を同じ印の帆船に満載して最上川を下った風景は土地の風物詩として今に語り伝えられています。

六代目西谷善太郎は山形の米屋を買収、享保7年(1722)福島大火により福島店焼失、大打撃を受けました。七代目、善太郎は火災の被害から逸早く立ち直り、諸店舗を再開していききました。八代目西谷善太郎は八幡における最上屋と福島仲間(商売地として進出していた店)は十余軒あったと伝えられています。仙台・最上・福島地方に進出した近江八幡出身の商人たちの組織したものが恵美寿講(えびすこう)です。宝曆14年(明和元年、1764)の『恵美寿講帳』によれば、会員は、仙台的寺村与左衛門・福島の西谷善太郎・西谷治左衛門・内池三十郎、山形の西川久左衛門・西谷善九郎・西谷権右衛門・警城国瀬上の内池与十郎・天童の内池宗十郎・福島の森亦三郎の10人でした。

文化元年(1804)頃から分家二代は業務が芳しくなく債務を弁済し、本家に譲渡しましたが、八幡の西谷家は諸分家や別家も相次ぐ没落していき、その原因は定かではありません。しかし現在も福島大町の西谷小兵衛家は土地の有力者として栄えています。幕末嘉永の頃までは八幡の本家と連絡がありましたが、いつの頃から出店独立の形となつていきました。分家で西谷権右衛門の別家で西谷金兵衛家は天正十四年没した深尾加賀守(浅小井城主)浅小井町出身の深尾氏であり山形店を経営していました。また山形十日町の商品を扱って現在盛業中の中村喜兵衛家は初代は市内倉橋部町の村地定右衛門家出身で定八といひ西谷伊兵衛店の番頭から南部屋中村家の養子となつて分家しています。八幡商人は福島、山形地方に商戦網を張り巡らし同じ資本のもとで諸店が連携して仲間を結成して商権を把握し領主の保護を求めました。その仲間によって奉納された石灯籠が八幡神社の馬場に現存しています。一対の石灯籠の台石に仲間の文字が刻まれ、奉納した事で最上屋一族の活躍ぶりが伺えるのです。

(西谷家の墓は西光寺にあります)
多くの石灯籠が日牟禮八幡宮には寄進されている

※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊より抜粋

近江牛 志満 冬も新志満

OMT BEEF MORISHIMA

定休日 水曜日
営業時間 11:00~21:30 (LO 20:00)
近江牛毛利志満本店
近江八幡市東川町 866-1 電話 0748-37-4325

クイズ

西谷家は近江八幡では「最上屋」出羽地方では「西屋」として活躍しました。五代目、西谷善太郎の弟の西谷〇〇〇は分家をして福島や山形に屋号を「西屋」とし大いに活躍しました。五代目の弟の名前は誰でしょう。

抽選で5名様に「葺うどんペアお食事券」を差し上げます

◆ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。

応募〆切 12月5日 必着

※当選者の発表は、発送をもって代えさせて頂きます。

T 523-0837 近江八幡市大杉町30の1(有ほのぼの館クイズ係)
FAX 0748-32-3514

当選者発表	
答え… 伴伝兵衛	
出町	T・Sさん
川原町	K・Sさん
杉森町	M・Mさん
中小森町	K・Tさん
鷹飼町	Y・Kさん

和食麵処 サガミ

サガミ近江八幡店

忘年会・新年会 ご予約賜り中
飲み放題お一人様1,600円+税
2名様以上2時間まで(グループ全員でご注文頂きます)

旬の味覚を鮮やかに
美味なる料理に舌鼓
至福のひとときにご満足あれ
お気軽にご利用下さい。

店長おすすめ料理
近江牛小鍋とお刺身和膳
2,090円(税)

ご予約も承っておりますのでお気軽にご連絡下さいませ。

〒523-0892 近江八幡市出町456
営業時間/ 11:00~23:00
(ラストオーダー 22:30)
定休日/年中無休 Tel. 0748-33-4322

1月1日のみ
11:00~22:00

忘年会・新年会に。お歳暮でのご贈答に…

近江牛から近江の味と文化へ…



お誕生日・記念日 花束プレゼント (12月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ 8個入り (1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

* 末法 / APOCALYPSE 失われた夢石庵 12月24日迄 20名様
コレクションを求めて 細見美術館

* 井上章一の現代洛中洛外もよう スクラップブック 20名様

* 2018年度 京都新聞ダイアリー 30名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切 花束 11月30日迄 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。予めご了承ください。
洗剤、チケット等 12月5日迄

近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか!

八幡堀 新町浜



平成29年 新町浜 (以前は橋が架かっておりシネボウ敷地内に動楽館がありました)

八幡堀は秀次公が八幡城築のとき琵琶湖と堀割を繋いだ事により町が発展してきました。八幡商人より「浜」は輸送の大きな役割をはたし、多くの情報が入って来ていました。八幡堀と南北の主要街路が接していて、荷物の積み上げ・積み下ろしが行われた場所を「浜」と呼び、大津屋浜、池田町浜、本町浜、新町浜、魚屋町浜、宮ノ浜(大杉浜)、永原町浜が主に活用されていました。1940(昭和15)年発行の「滋賀県八幡町史」によると、当時の八幡堀の状況から、堀の幅・水深の最も大きい新町浜を中心としていました。

1690(元禄3)年丸子船と船(ひらた)船に、運上(雑税)が課税されるようになります。船船は、小船で、近在の浦々や港湾施設のない浦において丸子船から浜へ荷物を運ぶ船(はしけ)として利用されました。

(船会所と駄別(だべつ)番所)廻し船の順番を記した「船折(ともおり)帳」や仲間規約を認めた「高札」が掲げられ、船に関するすべての事務を行った「船会所」は新町元(元)にあり、八幡堀の維持・管理にあたった「駄別(だべつ)番所」は、日杉町にあったと伝えられています。

参考資料▷近江八幡の歴史第1巻

“日本一遅い乗り物” ゆったりと手漕ぎ和船で堀めぐり

自動車の普及等により舟運の役割を終えた八幡堀は、1965~1974年(昭和40年代)の始めの頃より河川環境が悪化し、ヘドロが堆積、水位が低下、水が腐敗、ホテイアオイや草が繁茂しました。蚊やハエが大量発生し、日が暮れるとウシガエルの不気味な合唱が始まり、夏には耐えがたい悪臭が漂い、堀にゴミを捨てるものも多く、八幡堀はみんなの厄介ものになっていました。「埋めたときから後悔が始まる」の合い言葉で青年会議所や市民で再生運動が、始まりまし



大正~昭和初期頃 動楽館と八幡堀新町浜 【所蔵 郷土料理 喜兵衛】

1976(昭和51)年からの全川幅の浚渫、1992(平成4)年からの浄化用水の導水、1994(平成6)年~1998(平成10)年の修景護岸整備、2002(平成14)年の水位保持堰の整備の結果、現在の状況まで改善・整備が進みました。

「化石燃料をつかわない」学びと発見の手漕ぎ舟ECOトリップ



完全予約制

所要時間: 約30分
◇新町浜から幸内橋往復
料金: 大人 1,000円 (税別) 小人 500円
所要時間: 約60分
◇新町浜→幸内橋→白雲橋→新町浜
料金: 大人 2,000円 (税別) 小人 1,000円
定員: 6名 (小人: 小学生)

(詳細はお問い合わせ下さい) 0748-36-5115

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

アンドリュース記念館2Fに2017年3月OPEN

Going Nuts ゴーイングナッツ ナッツとドライフルーツ専門店



近江八幡市為心町中31 アンドリュース記念館2F / 登録有形文化財(建造物)

■営業時間 / 11:00~18:00 ■定休日 / 日曜
■電話番号 / 0748-43-1933 ■詳細 / <https://www.going-nuts.com>

カラダとココロに嬉しいこだわりのナッツ専門店 Going Nuts! ゴーイングナッツ 砂糖不使用、無添加ナッツ & ドライフルーツで たのしく・おいしく・健康的に。

店主自らアリゾナのナッツ農園を訪れて、自信を持って勧めるこだわりのナッツとドライフルーツ。厳選したナチュラルナッツと無添加ドライフルーツを世界中の産地からお届けしています。ヘルシーな間食として、スポーツの補給食として、勉強の合間の健脳食として、たのしくおいしく健康的に!

